

2016 文部科学大臣杯 JAPANKART CUP with HDX

開催コース/筑波サーキット (茨城県)
主催/日本スーパーカート協会
開催日/3月20日
天候/晴れ 路面状況/ドライ
Report&Photo//月刊 JAPAN KART



◀開催クラス最多のミッションクラス表彰式。ミッションクラスで主流となっているのは往年の名エンジン、ヤマハのYZ80 もしくはYZ85 エンジンだ。今では数少なくなったYZ80 エンジンだが、四輪ロードコースを走らせるには最適なエンジンといえるだろう

ジャパンカートカップ開幕戦は3月20日、茨城県・筑波サーキットで開催された。絶好のコンディションのなか、午前中にスタートした決勝レースは大きなハプニングもなく、トップチームは52週の周回数を数えてチェッカーとなる。

なお、今シーズンは今回の筑波サーキットの他、富士スピードウェイ (静岡県) と SUGO 国際レーシングコース (宮城県) の3つのロードコースで全6戦にわたり展開されていく。

▶ KT100 クラスで開幕戦ウィナーに輝いた千吉良伶。今シーズンはフル参戦を予定している



▲ KT100 クラスのニューフェイス、千吉良伶(左)とボルジャ・ダグラス。二人はまだ10代前半の超フレッシュな面々だ



▲ ミッションクラス優勝の靖亜 with J.M.P が総合でもトップを獲得。52周を走破した!



▲▶ YZ125 クラスで優勝したエフエガーラ 57RSR。大きなリードを築き総合でもトップチェッカーを受けるが、セーフティカー投入時の黄旗追い越し違反ペナルティで1周減算。惜しくも総合優勝は取り逃がしてしまった



▲ OTO&OTTAN は若葉マークを背中貼るレース歴1年半の赤木英之選手と30年越えの大ベテラン、鳥取県選手のコンビで結成